

平成 27 年 10 月 9 日

各位

会 社 名 株 式 会 社 S H I F T  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 丹 下 大  
(コード番号:3697 東証マザーズ)  
問 合 せ 先 取 締 役 CFO 福 元 啓 介  
( TEL. 03-6809-1165)

(訂正)「平成 27 年 8 月期 通期及び第 4 四半期決算説明会資料」の一部訂正について

平成 27 年 10 月 8 日に公表しました「平成 27 年 8 月期 通期及び第 4 四半期決算説明会資料」の記載に一部誤りがございましたので、下記のとおり訂正いたします。

記

【訂正箇所】(訂正箇所には下線を付して表示しております。)

株主数 (説明資料 28 ページ Appendix 内 株式の状況)

<訂正前> 4,835 名

<訂正後> 4,838 名

以上

2015年8月期 通期及び第4四半期決算説明会資料

すべてのソフトウェアに  
Made in Japanの品質を

株式会社SHIFT(証券コード:3697)  
2015年10月8日

本資料に記載された意見や予測などは資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。  
様々な要因の変化により実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

# AGENDA

1. エグゼクティブサマリー
2. 決算概要
3. 成長戦略の進捗
4. 今後の方針と計画
5. トピックス

# 1. エグゼクティブサマリー

# 1. エグゼクティブサマリー

FY15 通期	決算概要	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 売上高 実績:3,288百万円(予想:3,043百万 前年比52.9%増)</li><li>■ 営業利益 実績: 319百万円(予想: 293百万 前年比157.2%増)<ul style="list-style-type: none"><li>□ 売上高、営業利益ともに予想を上回り着地</li><li>□ QonQ9期連続で、過去最高売上を更新</li></ul></li></ul>
	事業概要	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 受注環境は、通期を通して好調に推移<ul style="list-style-type: none"><li>□ 7セクションのセクション長がマネージャーとして順調に育った</li><li>□ トレーニングセンターによる中途社員のスキル底上げに成功</li><li>□ エンターテインメント領域は、新規受託が引き続き好調、大幅増収を達成</li></ul></li></ul>
	トピック	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 業務提携及び合併会社設立<ul style="list-style-type: none"><li>□ 株式会社フィックスターズと合併会社設立、機械学習を取り入れた新領域の開拓</li></ul></li><li>■ 今期施策の主な進捗状況<ul style="list-style-type: none"><li>□ 株式会社ネオキャリアとの協業による開発者向けスキル検定 受験者数700名を突破</li><li>□ 子会社 株式会社SHIFTPLUSは、当初計画を上回る順調な成長を続ける</li></ul></li></ul>
FY16 通期業績予想		<ul style="list-style-type: none"><li>■ 各サービス、業界におけるバランスの取れた成長による事業規模の拡大を目指す<ul style="list-style-type: none"><li>□ 売上高(46億)、営業利益(4.5億) ともに前年度比140%強の堅調な成長と更なる投資を見込む</li></ul></li></ul>

## 2. 決算概要

## 2015年8月期 売上高 32.8億円 営業利益 3.19億円 通期予想値も着実にクリアし、前期比157%増益を達成

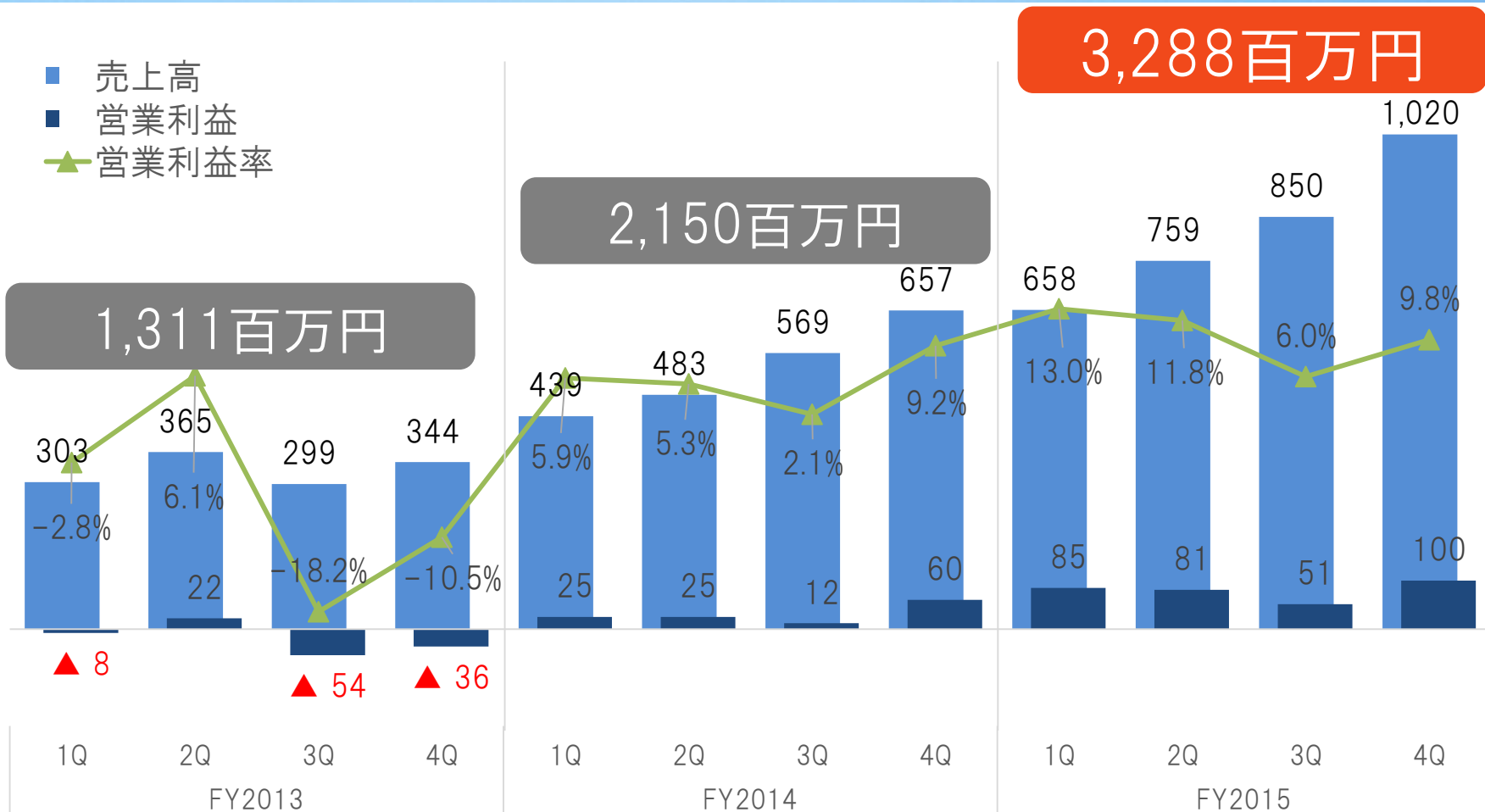
当初予想を大幅に上回る増収を確保、余剰利益は投資に回しながらも  
公表予想値を上回る利益で着地

(単位:百万円)

	2015年8月期 実績	前年比	上方修正後		当初	
			予想値	達成率	予想値	達成率
売上高	3,288	52.9%	3,043	108.0%	2,969	111%
営業利益	319	157.2%	293	108.9%	284	112%
営業利益率	9.7%	-	9.6%	-	9.6%	-
経常利益	315	153.8%	285	110.5%	295	107%
当期純利益	195	30.6%	190	102.6%	162	120%

# 9四半期連続でのQonQ増収、通期売上高 前年比52.9%増

(単位:百万円)



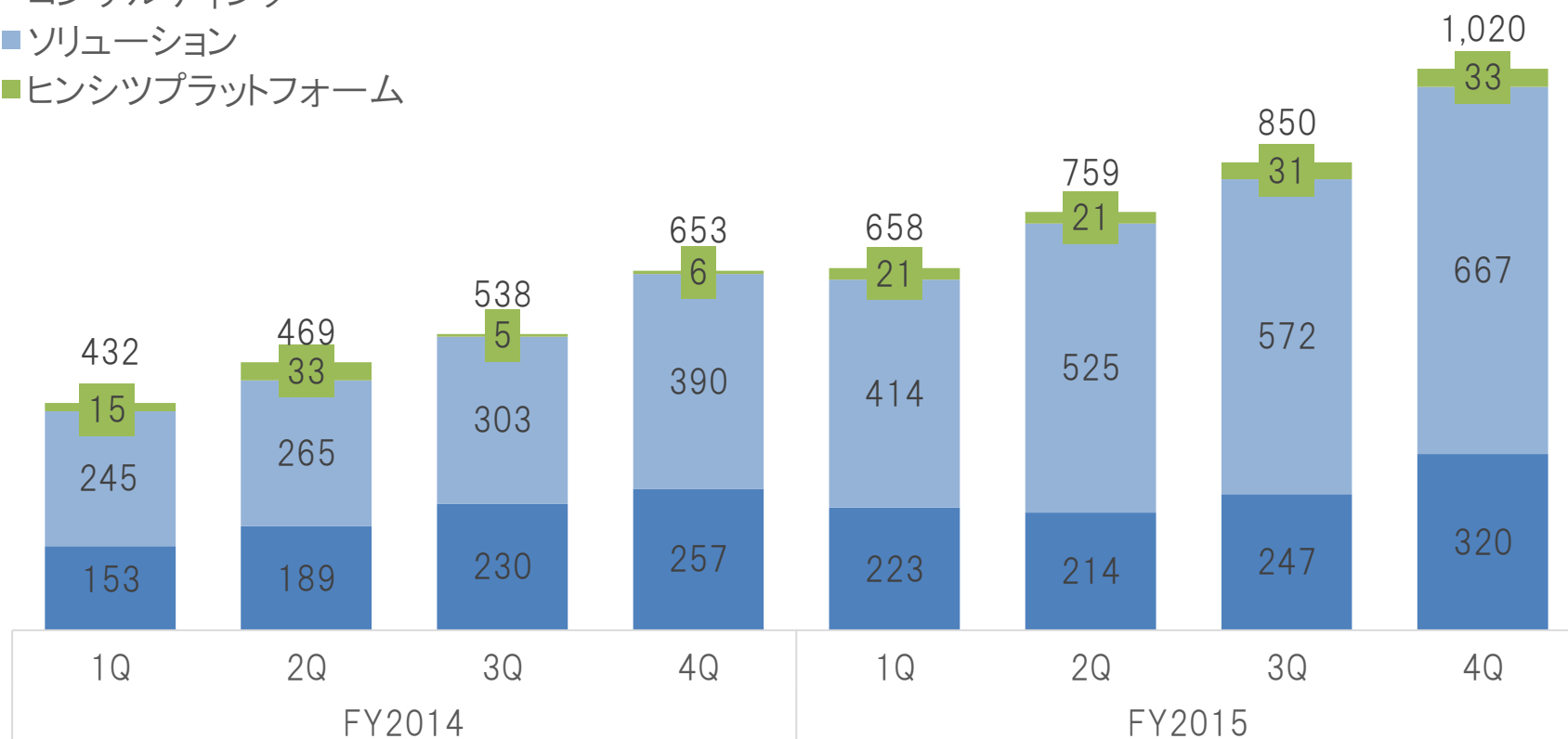
※ FY2014 4Qではソフトウェアテスト653百万円に加え、その他事業4百万円が含まれています。



# コンサルティング、ソリューションともに堅実な成長を達成 ヒンシツプラットフォームも、通期1億の売上をクリア

(単位:百万円)

- コンサルティング
- ソリューション
- ヒンシツプラットフォーム

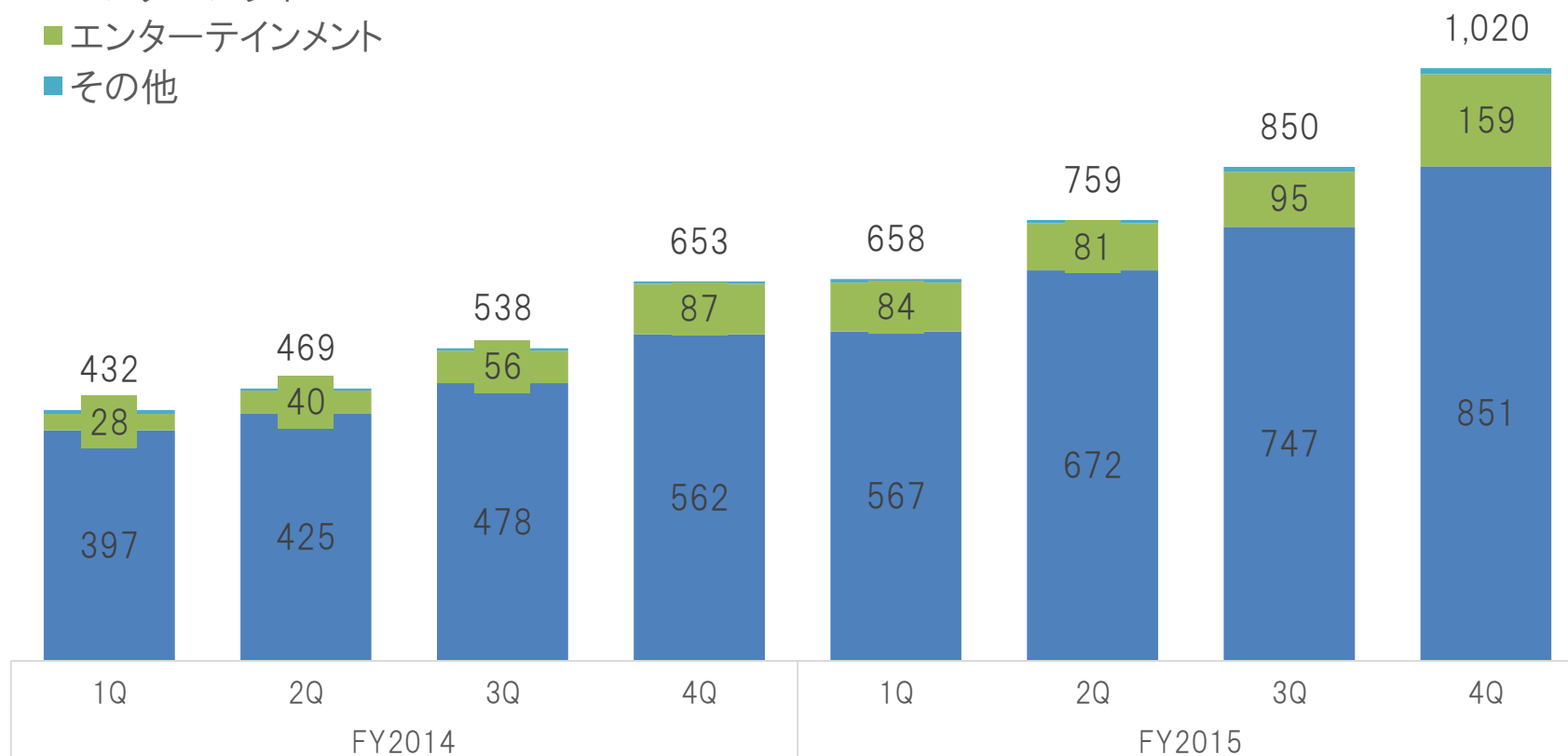


※FY2014はソフトウェアテスト事業の売上高のみを集計しているため、連結売上高と相違しています。

**エンタープライズは、安定的なリピート受注で拡大**  
**エンターテインメントは、新規開拓成果で大幅増収**

(単位:百万円)

- エンタープライズ
- エンターテインメント
- その他



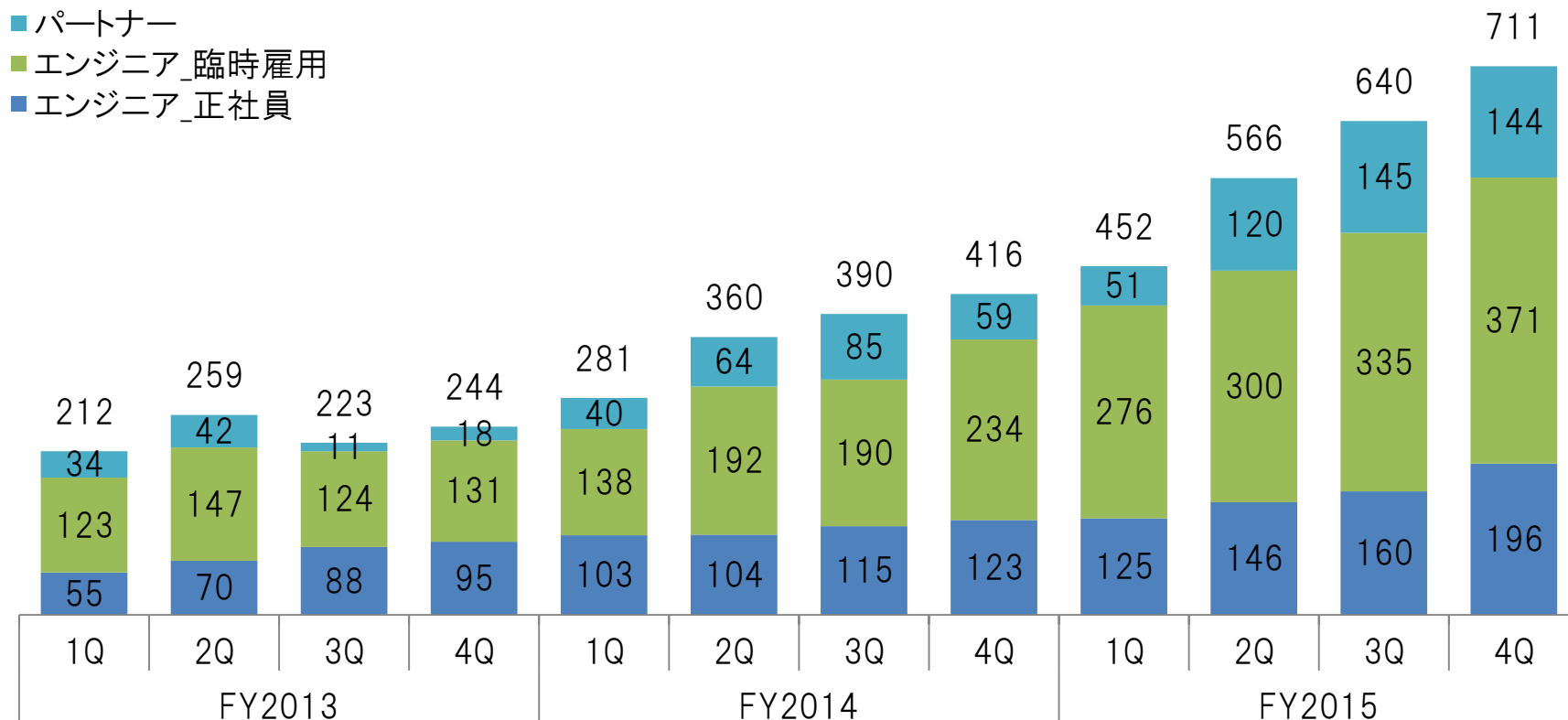
※FY2014はソフトウェアテスト事業の売上高のみを集計しているため、連結売上高と相違しています。

## 会社規模拡大による人件費の増加と人材採用への積極的な投資活動を実施

(単位:百万円)

	2015年8月期		2014年8月期		増減率	備考
	実績値	売上高比	実績値	売上高比		
人件費	415	12.6%	307	14.3%	35.2%	CAT開発、人材採用チームを中心に人員を増員。
採用費	135	4.1%	60	2.8%	122.9%	募集媒体への掲載、紹介料などに活用。SHIFT単体で340名の採用につながる。
広告宣伝費	12	0.4%	22	1.1%	▲44.0%	展示会、カンファレンスなど関連イベントへの出展を中心に活用。
支払報酬	36	1.1%	23	1.1%	57.0%	上場に伴い増加
その他	156	4.8%	151	7.0%	3.3%	-
合計	756	23.0%	565	26.3%	33.8%	-

# 採用投資に成果が出始め、人材採用が安定的に進む 2015年8月末時点にて、700名を突破



- ※ 末日時点での雇用契約が有効な人員数。
- ※ 登録型アルバイトの人員は含まれていません。
- ※ バックオフィスの人員は含まれていません。

## 事業拡大にともない、引き続き順調に純資産が増加

(単位:百万円)

	FY2015 4Q (2015年8月)	FY2014 4Q (2014年8月)	前期末比
流動資産	1,802	1,232	+46.3%
うち現金及び預金	1,286	903	+42.5%
有形固定資産	151	133	+13.8%
無形固定資産	99	59	+66.3%
投資その他	171	105	+62.4%
総資産	2,224	1,530	+45.3%
流動負債	692	461	+50.1%
固定負債	16	13	+20.2%
自己資本	1,489	1,056	+41.0%
新株予約権	2	-	-
少数株主持分	24	-	-

# 3. 成長戦略の進捗

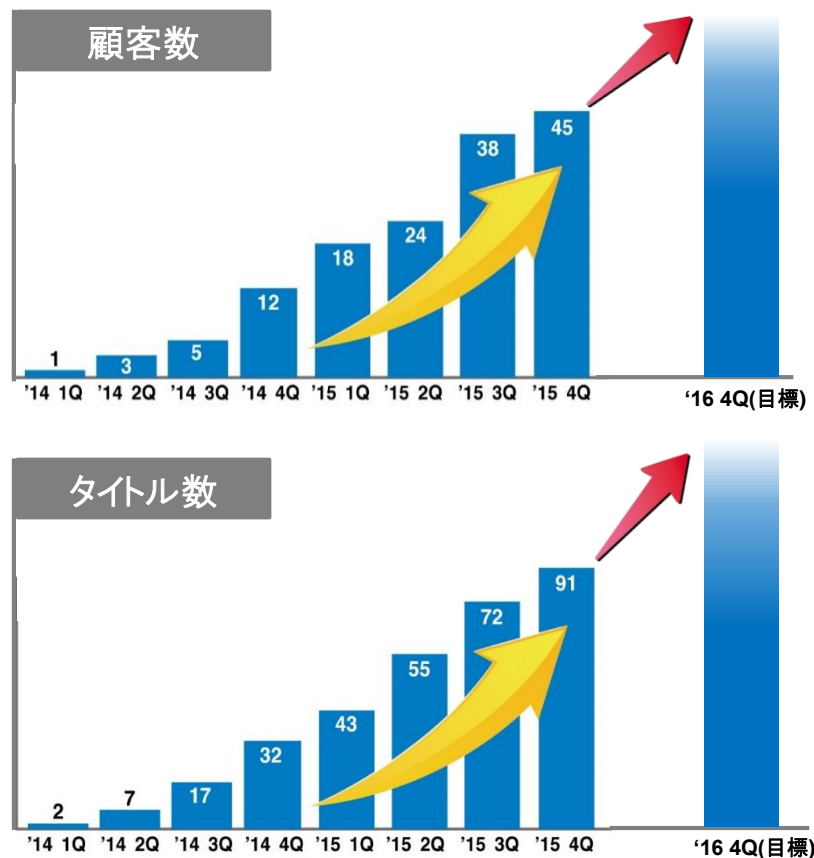
**【伸ばせ戦略】 優秀な人材の確保を通期の最重点事項とし活動**  
**全採用人数 340名 うち、エンタープライズ領域には272名が参画**

2015年8月期の全採用人数 **340**名

バックオフィス	ソフトウェアテスト、品質保証業務 従事者			
<ul style="list-style-type: none"> <li>- 採用体制強化人員</li> <li>- 社内インフラ強化人員</li> <li>- ブランド強化人員</li> </ul>	<b>316</b> 名			
<b>24</b> 名	技術専門職	エンターテインメント領域	エンタープライズ領域	
	新規サービスの開発、特殊知識や知見を要するサービスの提供	【拡げる戦略】領域での、事業規模拡大と、新たなサービス開発に貢献	<b>272</b> 名	
			プロジェクト管理者	テストエンジニア
			管理、コンサルテーションを実施。セクション長候補含む。 <b>69</b> 名	テスト実行、設計を担当。 <b>203</b> 名

※SHIFT単体の採用人数であり、子会社での採用人数は含んでいません。

**【拡げろ戦略】** エンタメ業界に特化した**新サービスの確立**と、**テスト体系のチューニング**により**新規、大型案件の獲得**に繋がる



前期比 売上目標  
**1.5倍** 成長

FY2015実績 **4億**      FY2016目標 **6億**



## 【創れ戦略】SHIFTで成功実績を確証した品質保証方法をもとに 業界標準化を目指した非属人的サービスの確立を進める

本ビジネス領域から、「ソリューション」「コンサルティング」領域への流入も順調  
⇒ビジネス領域間のグッドサイクル化が進む

### ナレッジ/データ活用

**じどうかの窓口。**

テスト自動化導入に関する各種支援が好調！

- 自動化導入支援
- 自動化スクリプト作成
- セミナー開催 など。

■仕様書インスペクション/分析

「不具合の発生を事前に防ぐ」取り組みとして受注増加

### 教育/啓発

**ヒンシツ大学**

認知度向上に伴い、講座数と受講者数ともに増加

<講座数>

年度	講座数
FY2014	37
FY2015	66
FY2016	88

<受講者数>

年度	受講者数
FY2014	162
FY2015	713
FY2016	850

### 非機能テスト

**セキュリティ検証**

FFRIとの協業による新サービスの確立を推進

**負荷検証**

Jmeterを活用した検証技術を確立

### ツール展開

**CAT COMPUTER AIDED TEST**

無料  
トライアルサービス開始  
⇒認知度向上  
⇒新規ユーザー獲得

**Chibineko**

CATでリーチできない開発者層へのアプローチ

### 検定

■CAT検定  
ソフトウェアテスト適性検査

■CAT検定受験者数 **23,473人**

■ε-イプシロン-  
開発者技能検定

SHIFTエンジニアスキル検定

山田太郎

スコア: 85 (80/100)

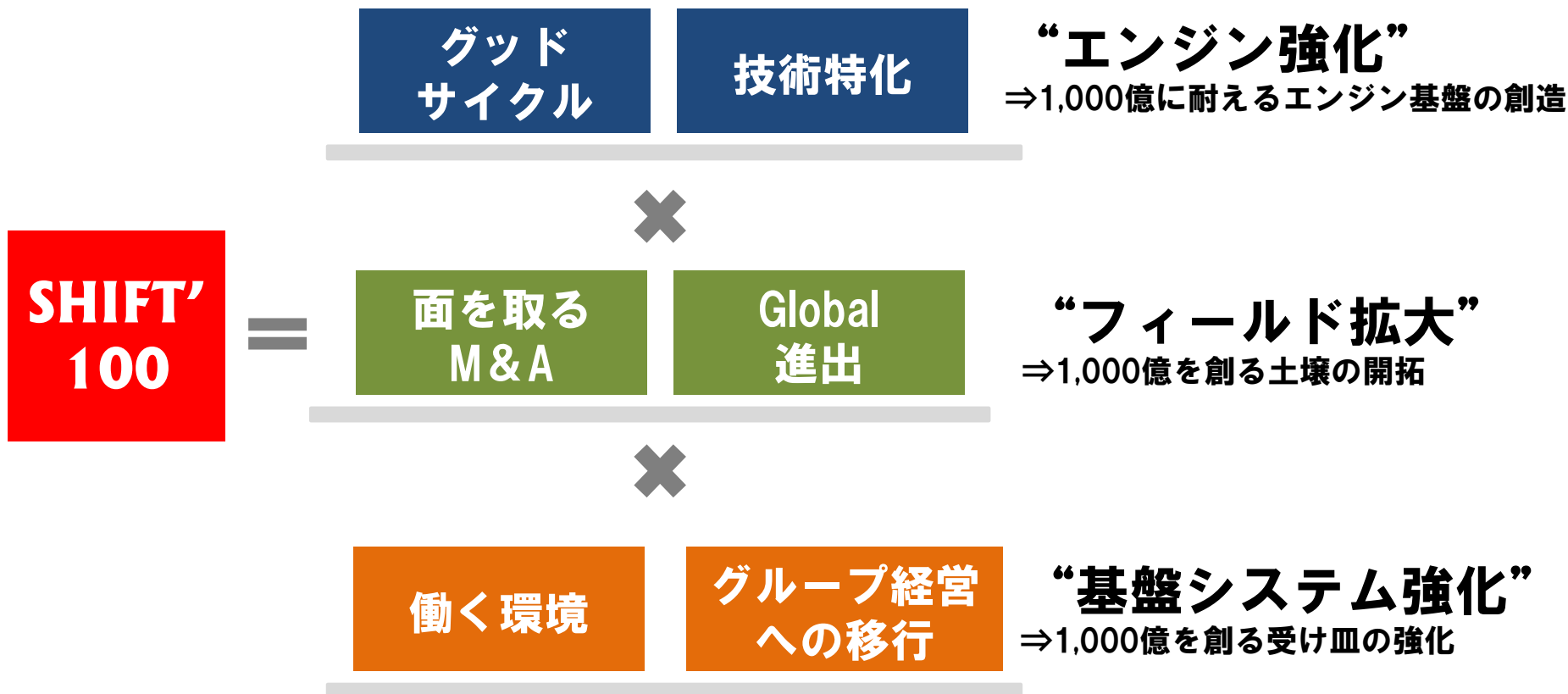
4.4

テスト設計	4.6	必ず達成!
開発者層へのアプローチ	3.6	必ず達成!
品質保証	4.3	必ず達成!

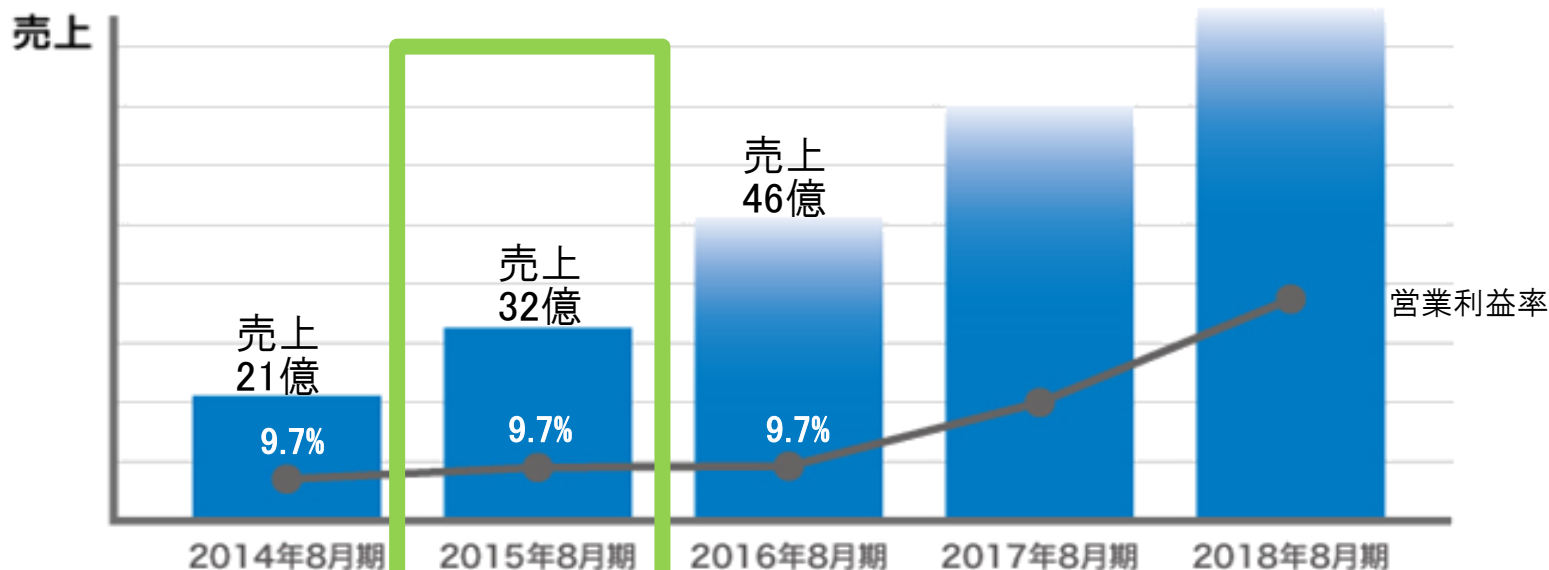
## 4. 今後の方針と計画

## 4. 今後の方針と計画

# 1,000億を実現するための100億を創る



更なる事業規模の拡大へ向けた強固な基盤創りとして、  
 トップラインを着実に伸ばしながら、投資活動を堅実に進める



アクション

セクション長育成 マネージャーの採用 品質コンサル強化 登録テスター獲得 ヒンシツ大学拡散 CAT販売促進 マッチングサービス開始	<b>【エンジン強化】</b> サービス価値連鎖向上 SIの勝ちパターン構築 <b>【フィールド拡大】</b> エンタメ領域の拡大 IoTへの進出 海外オフショア拠点立ち上げ <b>【基幹システム強化】</b> 1000人を目指した基盤創り 積極的な人事制度構築 人材DBの構築	<b>【エンジン強化】</b> 大型案件体制の構築 業界特化型サービス体系化 <b>【フィールド拡大】</b> M&AIによる領域拡大 海外販売拠点立上げ <b>【基幹システム強化】</b> 基幹システムの刷新 経営人材の育成	<b>【エンジン強化】</b> データ利用による価値貢献 セグメントNo.1の実績創り <b>【フィールド拡大】</b> 保守開発領域への進出 <b>【基幹システム強化】</b> グループ経営の実現
---	---	---	---

## 通期目標 売上高 46億円 営業利益 4.5億円

- ・売上142%成長を目指す ※アップサイドの成長は未反映
- ・収益計画へのM&Aなど事業規模拡大へ向けた活動分は含んでいないが精力的に実施予定
- ・優秀な人材の獲得と、インフラ整備など事業拡大へ向けた積極的な投資活動を継続する

(単位:百万円)

	2015年8月期 実績	2016年8月期 計画	前年比	増減額
売上高	3,288	4,687	42.5%	+1,398
営業利益	319	458	43.5%	+138
営業利益率	9.7%	9.7%	-	-
経常利益	315	495	56.9%	+179
当期純利益	195	288	47.4%	+92

# 配当に対する考え方

2016年8月期も、引き続き企業として成長段階であると考え、事業拡大へ向けた投資活動を継続。

当面は、内部留保を優先する。

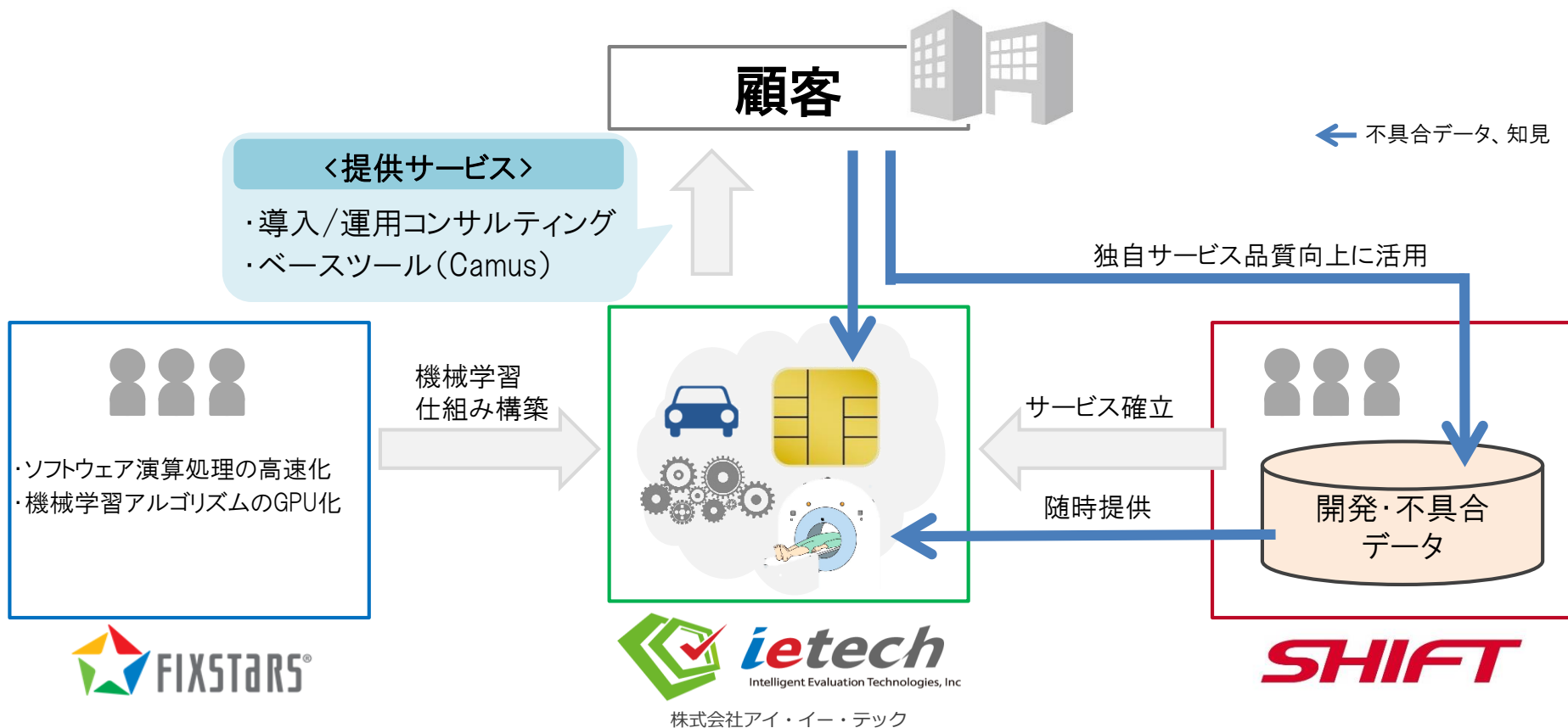
ただし、期首時点での予想を大きく上回る利益が生じた場合、投資活動や業績動向などを考慮しつつ、配当の有無についても再度検討する。

「安心・安全なソフトウェアが広がる社会」の実現へ向け、企業価値の向上を通して株主の皆様への利益拡大を目指してまいります。

# 5. トピックス

## 今期の取り組みと状況

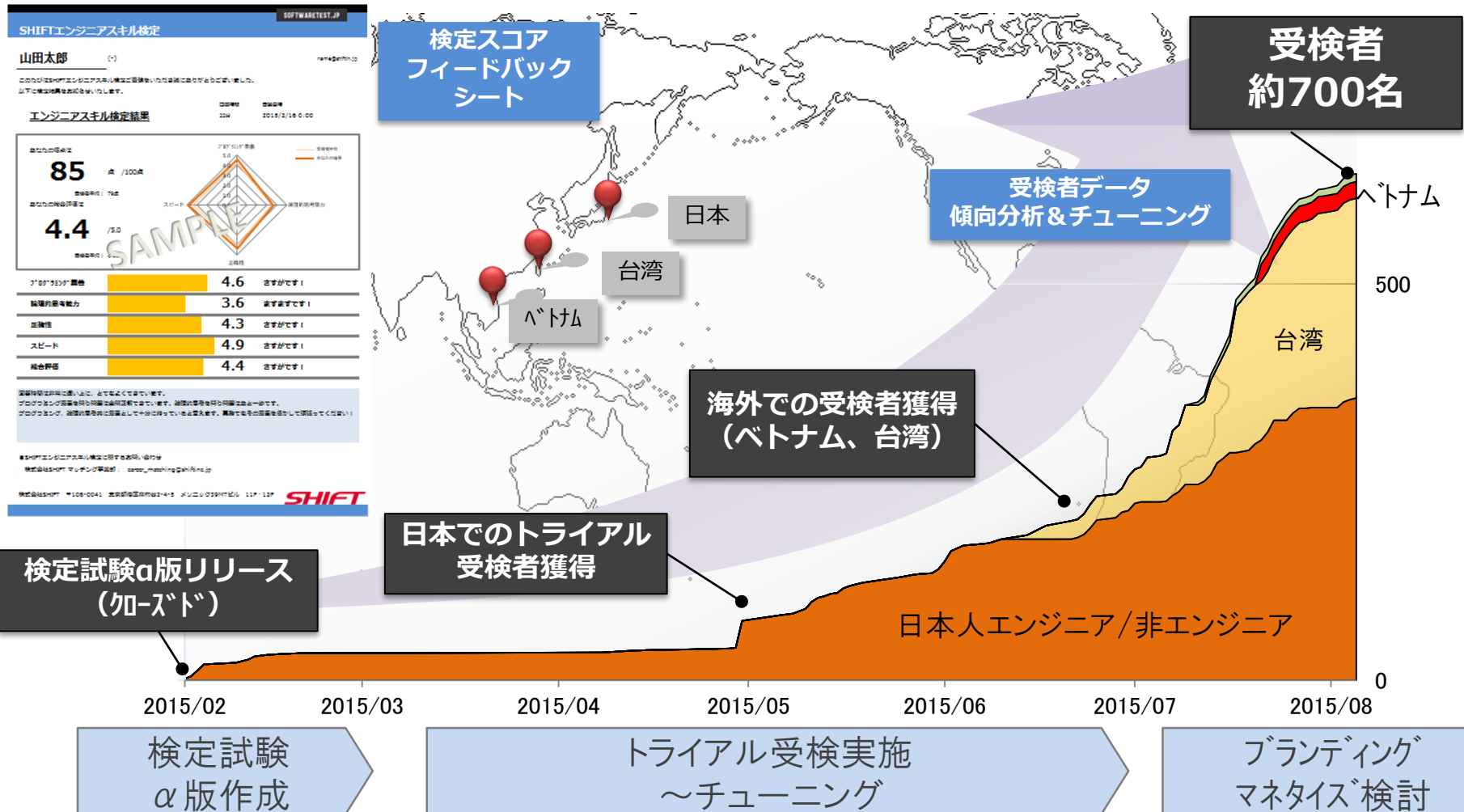
## ソフトウェア開発における品質の向上と、開発スピードを加速させる、機械学習を取り入れた開発支援サービス確立



機械学習技術を駆使したテスト自動化におけるリーディングカンパニーとして、不具合自動改修、自動プログラミング分野を目指す。



# 【業務提携】株式会社ネオキャリアとの開発者技能検定 ε (イプシロン) と命名し展開、現在までに3カ国約700名が受験



【子会社】SHIFTPLUSは、問合せボリュームに合わせた柔軟なビジネスモデルにより、コストメリットの高いサービスを提供

従量課金型のビジネスモデル

顧客



開発

情報

QA(品質保証)とCS(カスタマーサポート)を  
従量課金にてワンストップで提供

イベントなどによる問合せ数を事前予測  
⇒過去実績から問合せ数を算出  
⇒効率的な人員配置による価格最適化実現

フィードバック・情報共有



QA

連携

SHIFT PLUS



CS

サポート



ユーザー

売上高

予想 実績

目標達成率

138%  
単月黒字化!

2015年 5月  
(開所月)

2015年8月末

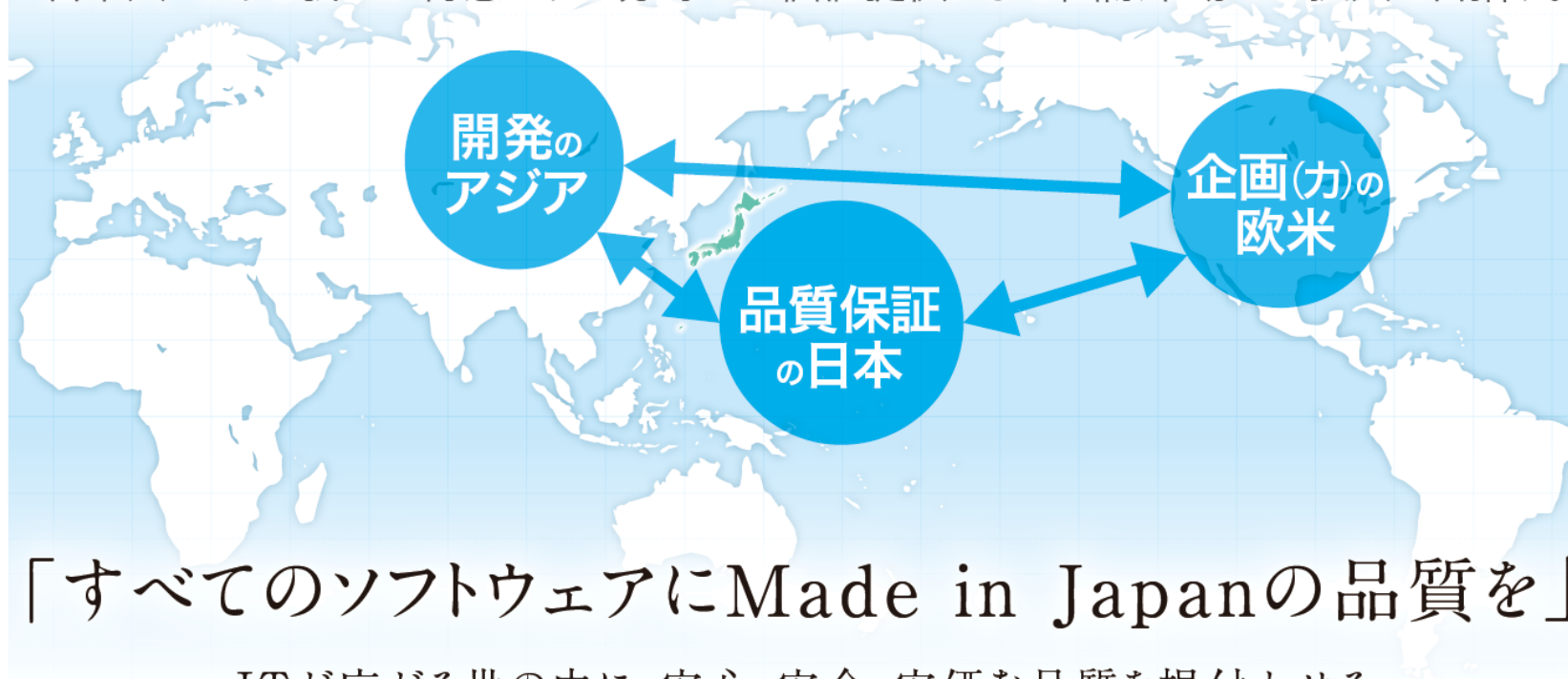
## 業務提携、子会社設立、共同研究、新サービスリリースなど 更なる企業成長における基盤づくりの一貫として幅広く実施

トピックス	発表日	概要	進捗
ローカライズ製品の品質保証 パートナーサービス	7月7日	イスラエルの注目スタートアップが提供する個人情報管理アプリ “MyPermissions”の日本展開に向けた品質保証パートナーとして支援。	製品リリース前のテストサービスとリリース後の運用(テクニカルサービス)を提供中。 テクニカルサービス(カスタマーサポート)に関するノウハウも随時蓄積。
CATクラウドでの提供 無料トライアル開始	6月18日 8月18日	SHIFT社内での業務効率化を目的として開発、活用を進めてきたCAT。顧客より多くの一般提供の要望をいただき、このたびクラウドサービスとして提供開始。	無料トライアルサービスの利用者が順調に増加し、CATの認知度向上に貢献。今後さらに営業活動を強化しツール展開を加速。
FFRIとセキュリティ分野で協業	4月6日	FFRIからの技術提供により、セキュリティテスト領域への進出。	ヒンシツ大学にてセキュリティ関連講座を提供。新規サービスの確立に取り組む。
早稲田大学共同研究	4月6日	早稲田大学グローバルソフトウェアエンジニアリング研究所と、ブラックボックステスト領域でのテスト手法研究を推進。	2015年4月、研究成果を国際会議ICSTにて発表。引き続き、実用化に向け確立を進める。
Chibinekoリリース	2月24日	「ソフトウェアテスト」を少しでも手軽に楽しく。をモットーに、CATではリーチできない小規模開発向けテスト進捗管理ツールとして無料提供。	ユーザーは世界中に広がり、15,000人を超える。国内でも、大手企業から個人開発者まで幅広く活用いただく。Chibinekoをきっかけとした、SHIFTのサービスに関する問い合わせも増加。

# この産業が日本発、世界へ行く為に

## グローバルな分業が進む、ソフトウェアの製品開発。

“日本人”である我々が得意とする分野での価値提供による国際市場での拡大を目指す。



「すべてのソフトウェアにMade in Japanの品質を」

ITが広がる世の中に、安心・安全・安価な品質を根付かせる。

これがSHIFTの目指す未来です。

## 会社概要 (2015年8月31日現在)

商号	株式会社 SHIFT
代表者	代表取締役社長 丹下 大
本社	東京都港区麻布台2-4-5 メソニック39MTビル TEL: 03-6809-1128
設立	2005年9月
資本金	570百万円 (2015年8月末現在)
事業内容	ソフトウェアの品質保証、テスト事業
取得特許	特許第5787404号 コンピュータプログラムのテスト仕様を生成するための 装置およびプログラム

## 株式分布状況



## 株式の状況 (2015年8月31日現在)

発行済可能株式数	50,000,000株
発行済株式の総数	14,410,500株
株主数	4,838名
大株主	

株主名	出資比率(%)
丹下 大	47.46%
Draper Nexus Technology Partners, LP	4.54%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2.95%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2.10%
株式会社ワークスアプリケーションズ	1.16%

## 株主メモ

事業年度	9月1日から8月31日
定時株主総会	毎年11月
基準日	8月31日
余剰金の配当の基準日	8月31日及び2月28日 (閏年においては2月29日)
基準日	8月31日
公告掲載方法	当社ホームページに記載 <a href="http://shiftinc.jp">http://shiftinc.jp</a>

## 将来見通しに関する注意事項

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。

これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。それらのリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報や将来の出来事等があった場合であっても、当社は本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。

株式会社SHIFT  
<http://www.shiftinc.jp/>

■お問い合わせ  
[ir.info@shiftinc.jp](mailto:ir.info@shiftinc.jp)

ソフトウェアテストといえば

**SHIFT**